

Q1

後追いが激しく、母親の姿が見えないと泣いてしまいます。
どう対応したらよいのでしょうか。



A

後追いは、人見知り（5、6か月で始まる）に引き続いて、9か月ころからはじまり、しだいに激しくなって2歳ころまで続くこともあります。ママの後を追いかけてママの姿が見えなくなると、泣き叫びます。ひどい場合はトイレにも入れない、と嘆くことになります。

しかし、これは一言でいうと、子どもの心が成長してきた証拠です。ママと他の人の区別が付き、「ママじゃなきゃだめ」と思うあまり、ママの姿を追いかけて姿が見えなくなると不安になるのです。それだけ、ママと子どもの心の絆がしっかりできてきた証拠です。しかし、子どもは、ママが見えなくなっても、すぐまたもどってくると分からないので、不安になって泣くのです。ママの姿が見えないと、ママは永遠にいなくなってしまうような不安感を感じているのです。

ですから、後追いがひどい時期は、なるべく子どもと一緒にいてやりましょう。トイレも一緒に入るとか、ドアをあけたままにしておくとか。また子どもが泣いたら、子どものもとにもどって、抱っこしてやります。お母さんが離れても、自分が求めれば、すぐまたもどってくれる、お母さんは自分をちゃんと見ててくれている、という安心感が、その後の自立の土台になっていくのです。

どうしても離れなければならぬ時は、「ママ、シーシーしてくるからね、すぐまた来るからね」と声をかけて離れます。それでも泣きますが、何も言わずに離れるよりはよいのです。子どもに気づかれないように、黙っていなくなるのは、むしろ逆効果だと言われています。

